



# 兵庫工業会 NEWS

2020年1月1日

発行／公益社団法人 兵庫工業会

No.293

謹賀新年



# 2020年の新年を迎えて



新年あけましておめでとうございます。  
本年もよろしくお願いいたします。

昨年を振り返りますと、新しい令和の時代が幕を開け、国中が慶賀の雰囲気にも包まれるなか、新天皇ご即位に関する諸行事が恙なく進められました。最先端の科学技術を誇りながらも、古（いにしえ）からの伝統も大切にす我が国の姿を、世界中に発信できたことは本当に嬉しい限りです。

またラグビーワールドカップにおける日本代表の大活躍は記憶に新しいところです。「ONE TEAM」という明確な理念のもと、達成すべき目標を立て、世界のコピーではなく日本独自のプレースタイルを確立した姿には感動させられました。外国出身の選手の活躍を見て、多様な人材を活用するダイバーシティという考え方が、組織の閉塞感を打ち破り、もうひとつ上の次元へ進むための決め手になる、と認識された方も多かったのではないのでしょうか。いよいよ間近に迫った東京オリンピック・パラリンピックや、それに続くワールドマスターズゲームズ2021関西への期待感もいっそう募ります。国際的なスポーツイベントに来られる海外の方々に、日本流のおもてなしを堪能してもらい、日本ファンになってもらうことは、何ものにも代えがたい最強の外交手段と言えるのではないのでしょうか。

兵庫工業会の昨年を振り返りますと、私事で恐縮ですが、5月末の総会にて会長職を拝命いたしました。まだまだ新米会長として至らぬことばかりですが、関係各位のおかげで何とか務めさせていただいております。皆さまの温かいご支援とご協力にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

工業会の活動といたしましても、昨年度から新たに掲げた「変化に挑戦 輝く未来へ」を合言葉に、「兵

庫技術研修大学校の運営」、「各種研修会・研究会の企画実行」、「工場見学会の開催」、「会員交流イベントの開催」、「行政関係部門との意見交換会開催」などの活動をしっかりと進めてまいりました。会員の皆様にとって、毎年有意義で役立つと実感していただけるように知恵を絞り、議論を重ねて改良・改善に取り組んでまいりました。加えて昨年からは「ものづくり分野における女性活躍の促進」をテーマに活動を始めました。女性人材のものづくり企業への就業を促進するために企業側の努力を促すとともに、特に文科系女子大学生をターゲットにして、「ものづくりのイメージアップ」を図る活動に取り掛かりました。地道に粘り強く進めていきたいと考えております。

さて、2020年の干支は庚子（かのえ・ね）で、「これまでのことを振り返りつつ、新しいことをこれから作ろうとする年」という意味があるそうです。不安定要素が増す世界情勢や、国内の多様で困難な課題を踏まえつつ、まさしく「輝く未来」に向かって積極的に「変化に挑戦」する、わくわくするような年にしたいものです。

兵庫工業会といたしましても、従来の活動に加えて、「人材不足対策への支援強化」、「会員相互の研鑽・交流のさらなる活発化」、「AI、IoTやロボット技術などの新技術導入に向けた支援の充実」などの新たな活動を企画・実行してまいります。そして会員各位が「本当に入会してよかった」、「自社の経営力強化に役立っている」と感じていただける兵庫工業会を目指し、活動をしていく所存です。どうか引き続きましてのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年が会員各位やご家族の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますことを心からお祈りいたしております。

公益社団法人 兵庫工業会

会長 宮 脇 新 也

# 新年のご挨拶

## 副会長 村元 四郎

(グローバル化推進委員会 委員長)



新年明けましておめでとうございます。

2019年度のグローバル化推進事業としては、従来から力を入れてきた「中小企業海外進出支援」に加え、新たに「グローバル人材関連」の事業を進めてまいりました。特に、海外人材の確保・定着につき、経験を積んだ会員企業より具体的な事例紹介していただくセミナーを開催し、非常に好評を得ました。11月に開催した「ベトナムビジネスミッション」ではハノイに加え、初めてダナンを訪問し、現地商談会、ハナム省人民委員会への表敬訪問、日系企業の視察や大学等との交流を精力的に行うことができました。

今年は、これからの進出先として期待されるミャンマーなどの国々の動向にも注目しつつ、「モノづくりのパートナー国であるベトナム」を総括する機会を設けるべく、議論を尽くしたいと考えています。

会員企業各位におかれましては、本年も積極的にグローバル化推進事業にご参加いただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 副会長 金井 宏彰

(産業・技術振興委員会 委員長)



新年明けましておめでとうございます。

本年が実質新たな令和の幕開けであり、平成を改めて振り返るとバブル崩壊とリーマン危機に悩まされた低成長のデフレ経済においてコスト競争力向上とグローバル化に奔走し、新たな成長に向けたnewエコノミーのシフトとそれに伴う物価上昇、賃金上昇が遅れ、他の先進国と大きく格差、乖離した30年と言えます。足元の人手不足や働き方改革も大切ですが、令和の時代に日本が隆々と経済成長を継続できるイノヴェティブなネタの構築が必要です。

一方、企業、会社の価値観も時代を反映して大きく変化し、国連発の気候変動問題や、SDGs、ESGに見られるように、社会課題解決型の企業活動が求められるようになっていきます。

工業会も新たな時代の新たなスローガンに相応しい次の時代への成長を目指したテーマへの取り組みと情報提供を心がけて活動してまいります。

本年もどうぞ宜しくお願いします。

## 副会長 竹田 佑一

(人材育成委員会 委員長)



新年明けましておめでとうございます。旧年中は多くの方々にご世話になりました。又、各事業に沢山の方がご参加頂き、心から御礼申し上げます。

2019年を少し振り返ってみたいと思います。何と言ってもワールドカップの盛り上がりが凄かったと思います。久しぶりに、日本中多くの方が感動を覚えたのではないのでしょうか。又、スポーツ界における若い人達の素晴らしい活躍もいまだに忘れられません。ただ、経済面では、消費税のアップや、米中貿易戦争そして日韓のこじれ等の影響でしょうか、消費支出が伸びず、少し景気の陰りが心配です。人手不足も依然として深刻です。厳しいですが、働き方改革も本格的に進めなければなりません。その為には、生産性の向上が求められています。機械化も勿論大切ですが、企業はやはり「人」だと思います。現場の従業員の皆さんに自信を持って働いて頂き、もっとやりがいを感じてもらえたらと思っています。

人材育成委員会としては、今年も色々な事業に取り組んでまいります。人手不足の中、研修等ご参加しにくいとは思いますが、是非一人でも多くの方にご参加頂き、皆さんと一緒に問題点を認識し、課題の克服に努めて頂ければ幸いです。今年もどうぞよろしくお願い致します。簡単ですが、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 副会長 神門 登

(会員交流委員会 委員長)



新年明けましておめでとうございます。

日本経済はデフレから脱却したが、中国や先進国と比較するとGDP成長率が低位で推移しています。日本経済の活性化には産業の新陳代謝が有効であるが、その重要な担い手はオーナーシップを発揮できるベンチャーや中小企業でしょう。オーナーシップを発揮するには、先ずトップリーダーの「総合的人間力」と「リーダーシップ」が必須であり、人的ネットワークの拡大がその醸成には大変有用です。

兵庫県にはものづくりに関わる分野・業種で多くの企業が活躍しています。行政、教育機関も整備されています。この恵まれた環境を生かさず手はありません。会員交流委員会では会員の皆様が「会員になって良かった」と実感できる魅力ある人的ネットワークの拡大につながる機会を提供していく所存です。

新年も引き続き会員皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

# 令和新時代 復興の、その先へ



新年あけましておめでとうございます。

阪神・淡路大震災から間もなく25年を迎えます。この間、国内外の人々が驚くほどの創造的復興をなしとげました。しかし、危機に陥った財政の建て直しに取り組まざるを得ないなど、苦難の連続でした。令和の時代の到来とともに、新たなステージへのスタートを切る環境が整いました。

25年の節目を機に改めて原点に立ち返り、震災の経験や教訓を忘れず、伝え、これを活かし、しっかりと備えていきます。

この安全安心の基盤の上に、2030年の展望の具体化を図り、すこやか兵庫づくりに取り組み、未来へのシナリオをしっかりと進めていきます。

第1は、安全安心な兵庫の構築。南海トラフ地震や風水害へ備え、安全な県土を築きます。2025年問題に対応するための在宅医療・介護体制の充実や地域医療の確保など、安心して暮らせる基盤をつくります。

第2は、地域の元気づくり。人口流出に歯止めをかけ、社会減を解消し、自然減を縮小する人口対策に取り組みます。次世代産業の創出を支援し、起業しやすい環境を整えます。農林水産業の基幹産業化も推進し、活力ある兵庫をつくります。

第3は、交流・環流の促進。五国の魅力を活かし、観光交流、スポーツツーリズムを推進し、交通インフラの整備を加速させます。三宮再整備や県庁舎の建替などまちの再生を急ぎます。

私たち兵庫は、震災という誰も経験したことのない試練を一丸となって乗り越えてきました。復興のその先の新たなステージでも、課題に対して果敢に挑み、ともに手を携え、すこやかな兵庫の実現をめざしましょう。

平成から令和へ 新たな時代に すこやか兵庫を めざし歩まん

兵庫県知事

井戸敏三

# 新年に寄せて



新年明けましておめでとうございます。

兵庫工業会におかれましては、課題解決型アクティブラーニングによる産学連携事業や海外展開支援事業にご協力いただいております。深く敬意を表しますとともに、これからも地域の産業を支え、雇用の受け皿として重要な役割を果たしておられる兵庫工業会の皆様と力をあわせ、地域経済の発展を目指してまいりたいと存じますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年は、あの阪神・淡路大震災から25年という節目の年を迎えます。振り返れば「平成」は災害の多い時代でした。時代が変わっても、私たちは、震災から得た経験や教訓を風化させず、次の世代に引き継いでいかなければなりません。また、国の内外から寄せられたご支援によって、復興を遂げることができたということを、私たちは決して忘れてはなりません。地震や台風などの激甚化する自然災害により被災された地域に対し、神戸は、しっかりと支援を行ってまいります。

昨年5月1日に「令和」の時代が始まりました。新しい時代の到来を機に、神戸が新たな時代にふさわしいまちとして、人間が大切にされる「人間スケール」のまちとなるよう、都市の魅力を磨き、ブランド力を一層高めていくことが重要です。

震災から四半世紀、この間、復興や財政再建を優先せざるを得なかったために手をつけられなかった公共空間やまちの佇まいをリノベーションし、まちの質・くらしの質を向上させ、見ちがえるような神戸の街を、市民のみなさんの参画を得て、つくりあげていきます。

これまで先人が築き上げてきた神戸の歴史や伝統に敬意を払いつつ、未来を見据え、グローバルな見地から、各分野において貢献できる神戸市をつくっていきけるよう全力を尽くします。神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

神戸市長 久元喜造

# 年 新 賀 謹

会 副	長 会 長	宮 村	脇 元	新 四	也 郎	理 事	清 眞	水 下	泰 直	人 忠
〃	〃	金 井	田 宏	宏 佑	彰 一	〃	井 小	上 松	俊 利	也 彦
〃	〃	竹 神	門 本	登 要	一 登	〃	番 石	所 田	和 啓	行 史
専 務 理 事	理 事	宮 荒	木 澤	俊 重	光 雄	〃	中 近	川 藤	洋 松	之 輝
常 務 理 事	理 事	小 森	田 伸	文 伸	藏 二	〃	三 瀧	浦 川	一 平	勇 敏
〃	〃	千 阿	比 野	美 智	剛 代	〃	高 上	馬 村	勝 裕	子 隆
〃	〃	井 大	上 庫	良 佳	一 昭	〃	中 安	川 藤	英 義	雄 富
〃	〃	大 井	上 島	孝 康	郎 夫	〃	永 豊	井 嶋	次 修	郎 司
〃	〃	苗 岡	田 武	和 修	保 修	〃	黒 深	田 田	和 康	戡 伴
〃	〃	岡 吉	田 山	勝 彦	啓 子	〃	太 阿	倉 内	一 寿	磨 民
〃	〃	陰 高	橋 村	悦 眞	一 樹	〃	宮 矮	松 矢	公 哲	也 磨
〃	〃	中 久	木 本	安 眞	一 樹	〃	降 友	藤 上	千 久	稔 悟
〃	〃	松 頃	本 安	真 眞	一 要	〃	河 三	津 水	圭 信	二 郎
〃	〃	畠 小	田 谷	靖 史	安 人	〃	清 高	石 本	隆 健	城 孝
〃	〃	小 上	月 保	直 俊	子 毅	〃	高 倉	脇 井	純 博	子 和
〃	〃	大 大	久 保	直 俊	樹 三	〃	宮 下	土 田		
〃	〃	下 今	村 北	直 純		監 事	福 藤	嶋 本		
〃	〃	黒 山	田 本			〃	山			

〈敬称略〉

2019年は4月に平成が終わるとともに5月1日(水)に新天皇陛下が即位され、新たな元号「令和」の時代の幕開けの年でした。令和には人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められています。世界経済は米中貿易摩擦に翻弄され、日韓関係も戦後最大の冷え込みとなりました。しかし令和の思いが世界中に伝われば明るい未来が見えてきます。

そうした中、日本では10月に関西の民間企業出身の吉野彰・旭化成名誉フェローがノーベル化学賞を受賞するうれしいニュースがありました。9月から11月にかけては日本初開催のラグビーワールドカップが神戸市でも4試合が行われ、多くの外国人が訪れ、経済波及効果がありました。その神戸市は令和元年に明治22年の市制施行で神戸市が誕生して130周年を迎えました。市街地の再開発も本格化しています。

地元兵庫県、神戸市の経済状況は堅調を維持しています。しかし日本経済を取り巻く環境は厳しく、先行きは楽観視できません。深刻な人手不足や事業承継問題などにも多くの企業が対応を迫られています。こうした状況下で兵庫県内企業や自治体、経済団体、大学、研究機関は連携して発展しようとする動きが活発になっています。持続可能な開発目標（SDGs）を意識する企業、自治体なども動きを加速しています。

兵庫工業会は5月に宮脇新也会長が就任し、新たな基本方針「変化に挑戦 輝く未来へ」を定めました。会員のニーズや課題をよく聞いて新しいことに挑戦していきます。一方、引き続き多彩な事業を展開し、1962年から継続する兵庫技術研修大学校では、現場改善実践や機械工学、電気工学などの工学系の基礎・応用技術を習得する各種15コースを開講しています。申込者は約200人と関心の高さが伺えました。産業・技術振興事業では、8月に恒例の「夏のビッグイベント」を開き、分科会では「ものづくり企業から起こす『コトづくり』～ものづくり中小企業のSDGs」をテーマに議論しました。11月の「第16回ものづくり技術懇話会」は、産学官連携で、ものづくりを盛り上げていく使命を担っています。今回はAI、IoTや人手不足など、ものづくりの共通課題につき活発な意見交換が行われました。

迎える2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるなど、輝かしい幕開けとなります。干支の「子(ね)」のねずみは、すぐに子ねずみが増え成長することから、子孫繁栄の意味があるとされます。中小企業は後継者難の問題を抱えていますが、立派な後継者や新規事業を育てた企業は元気であることが兵庫工業会の企業見学会に参加して感じました。これからもこうした企業が多く出てくることを願っています。

このような新時代が始まった2019年の12月3日(火)、神戸ポートピアホテルで恒例の2019年度「会員交流懇親会忘年パーティー」が盛大に開かれました。兵庫工業会の会員の皆さん、工業会に関わる産官学金の関係者ら約200人が集まり、懇談、交流を深める数々のイベントが用意され、盛り上がりました。

### 体験型イベント

二部構成の忘年パーティーの第一部は午後4時30分に始まりました。会場に入ると会員企業が自慢の商品を披露する物産展が登場。住友ゴム工業では12月に発売のゼクシオ11代目ゴルフクラブ「ゼクシオイレブン」がひととき参加者の目を引きました。ゴルフボールセットはパターゴルフ体験の景品としてプレゼントも。地域貢献の一環として六次産業化に取り組む兵神機械工業は、自社農場「兵神ファーム」で収穫した野菜や米を販売。白く輝くブランド米「ミルキークイーン」は食の安全や環境保全に関する認証「JGAP」のほか、最高等級の1等級を取得しました。アイランドフューチャーコーポレーションは、丹波の地元特産の黒豆や栗金時といった正月向けの季節商品をアピール。段ボール製造メーカーの三和紙器は、段ボールから発生する紙粉を82%削減する技術など、食品の安全性確保につながる長年の独自ノウハウを紹介しました。

会場の奥に進むと、パターゴルフ体験やプロコーチによるゴルフレッスン、歩行姿勢測定などのアクティビティコーナーが広が



物産展

ります。パターゴルフは日頃の腕前を發揮、カップインして見事景品を獲得し、顔をほころばせている参加者も多くいました。アシックスが出展する歩行姿勢測定システムは、NECとの共同開発技術です。今回は、同社が独自にバージョンアップした機能を参加者が試していました。関節特性を捉える振動カメラは3Dモーションキャプチャーと同等の高精度を実現。歩く速さや腕振り、足の運び方など36項目から5段階評価し、歩行年齢を算出します。個人の測定結果にもとづいてトレーニング方法を提案できるのが新機能の特徴です。毎年測定に参加し、日々のトレーニングに生かす参加者もいました。

会場中央では白鶴酒造協賛の日本酒、メルシャン協賛のワインのきき酒クイズが催されました。日本酒は山田錦を100%使用した純米大吟醸酒「超特撰 翔雲」など高級酒から、よく知られた普通酒「まる」まで5種類を用意。白鶴酒造社員でも正答が難しいとされるほど難易度は高かったようです。ワインはチリ、ドイツ、日本産など6種類の白ワインが登場。見た目では違いが分からないほどですが、味わいは甘口、辛口、香りが高いものなど微妙な特徴があり、中には眉間にしわを寄せながら真剣な表情を浮かべ、解答用紙にペンを走らせる参加者も。良く顔を合わせる人も、久しぶりに会う人も、テイastingカップを手に和気あいあいとした雰囲気が印象的でした。



パターゴルフ



きき酒、ききワイン

## 忘年パーティー



宮協会長挨拶

午後5時30分になると会場を移してメインイベントの会員恒例の忘年パーティーが始まりました。冒頭、兵庫工業会の宮脇新也会長は「今年も兵庫工業会の活動にご協力頂きありがとうございました」と感謝を述べるとともに、令和時代の幕開けとなる2019年を振り返りました。天皇陛下のご即位の儀式が滞りなく進む一方で、ラグビーワールドカップ日本代表の大活躍に、会場になった兵庫県内も盛り上がりました。流行語大賞にもなった『ONE TEAM』をコンセプトに掲げ、明確な目標を持ち史上初の決勝トーナメント進出を決めたことなどを紹介しました。兵庫工業会の活動については「人材育成、産業・

技術振興、グローバル化推進、会員交流の4委員会が会員皆様の支援を受けながら進んでいます」と報告しました。そうしたなか、来年はどのような年になるのでしょうか。「令和2年は東京オリンピック・パラリンピックの年。兵庫工業会としては2019年度から掲げる『変化に挑戦 輝く未来』をキャッチフレーズに、令和2年が輝く年になるように会員の皆様と一緒にがんばっていきましょう。来年に向け本日の忘年会は大いに語り、飲み、有意義なお時間を過ごして下さい」と開催の挨拶をしました。

引き続き来賓を代表して兵庫県の谷口賢行産業労働部長が挨拶に立ち、兵庫技術研修大学校やものづくり技術懇話会の産官交流など積極的な事業運営に対して感謝を述べるとともに「ものづくり技術懇話会の議題にもあがった中小企業の人手不足対策や競争力強化のため、人工知能(AI)活用は兵庫県も2019年度の柱として取り組んでいます。また12月に発表した政府の海外経済の減速による景気の下振れ対策を含む10兆円を超える経済対策を踏まえ、兵庫県は機動的に対応していきます」と締めくくりました。



来賓ご挨拶



## 新会員紹介、鏡開き

兵庫工業会では2018年12月以降に8社が新たに入会しました。そのうち当日に参加した川口金属加工、協働水素、神防社、シスメックス国際試薬、播州調味料、ユーシステムの6社が壇上で紹介されました。

次に行われたのが白鶴酒造から提供された酒樽を囲んだ鏡開きです。兵庫県の谷口賢行産業労働部長、兵庫工業会の宮脇会長、村元四郎副会長、金井宏彰副会長、竹田佑一副会長と神門登副会長の6人が、おそろいの青いはっぴを着て、会員の「せーの、よいしょ」の声にあわせて力強く鏡が開けられました。続いて神門副会長が「忘年パーティーは会員のより一層の交流が目的です。新入会員も日頃交流の少ない会員の皆様も交流を深める良い機会にして下さい」と挨拶し、「本日ご参加の皆様のますますのご発展を祈念して乾杯」と音頭を取り、宴が始まりました。



新入会員紹介



鏡開き



乾杯

## 福引大会

乾杯が終わり、いよいよ交流会のスタートです。会場ではテーブルを囲んで、いくつもの歓談の輪が広がり始めました。赤いタスキの参加者が混じっていました。会員交流委員会のメンバーが懇談の橋渡し役を務めているので、新入会員や数回しか参加したことのない会員も安心です。ほどなくお待ちかねの福引き大会がスタート。おせち料理や旅行券、ホテル宿泊券など豪華賞品を多数用意されています。商品提供企業の代表者がプレゼンターとなって壇上に上がり、当選番号が大スクリーンに映し出されました。当日用意された福引景品は前半と後半を合わせて101本。豪華賞品を巡り熱気があふれました。次々に選ばれる当選者の歓声があちこちで響き渡り、一方では悔しがらる姿もあり、皆が一喜一憂する時間です。

前半は会員企業賞です。福引き順に寄贈者と賞品と紹介します。トップバッターの川崎重工業「Kawasakiオリジナルゴルフボール、カレンダーセット」5本を皮切りに、アベックス西日本「ココアセット」8本、キリン・ディアジオ「シングルトン12年」1本と「シングルトン18年」1本、関西キリンビバレッジサービス「キリンファイア挽きたて微糖30本」5ケース、キリンビバレッジ「午後の紅茶 無糖24本」10ケース、シマブンコーポレーションとアイランドフューチャーコーポレーション「カタログギフト」5本、コベルコビジネスサポート「ANA CROWNE PLAZA KOBEお食事券」1本、シスメックス「日本酒 福寿大吟醸」5本、甲南設計工業「USJペアチケット」1本、兵神機械工業「水耕野菜、ミルキークイーンセット」5本、神戸風月堂「ゴルフセット」12本とこれで賞品の当選は半分を超えました。続いて阿比野建設「カタログギフトセット」3本と「ピロミンセット」3本、滝川工業「お菓子詰合せ」2本、グローリー「明珍火箸風鈴」2本、白鶴酒造「日本酒 超特選 天空」と「純米大吟醸 白鶴錦」6本、フルヤ工業「カシオG-SHOCK」2本、上月ウディックス「上月オリジナルテーブル」1本、洲本整備機製作所「淡路島3年トラフグギフト券」2本、くすのき会「高級ハムセット」1本が選ばれ前半が終了。次々と壇上に登り満面の笑みで記念撮影するなど喜ぶ顔が増してきました。

そして注目すべき酒の結果発表です。白鶴酒造ご協力の日本酒部門は、今回は難しく、全問（5問）正解が1人だけ。川口金属加工の増田真助さんです。10人出た3問正解者と合わせ、白鶴酒造の「純米大吟醸 白鶴錦」が贈られました。メルシャンご協力のワイン部門では、3人が全問正解を果たしました。ジェミックスの平松慶



豪華賞品

大さん、コベルコ科研の今北毅さん、神鋼商事の星野悟さんです。ほかにも5問正解が1人、4問正解が3人です。メルシャンから「カッシュロ・デル・ディアプロ・シャルドネ 2018」が贈られました。

さて、福引き後半です。まだ当選していない人も、後半はホテル宿泊券やおせち料理などさらに豪華な賞品が残っているため、楽しみはこれからです。ここからは当選者を氏名で紹介します。日本旅行神戸支店「旅行券」は、ワイン部門で全問正解だった神鋼商事の星野悟さんが獲得しました。近畿日本ツーリスト関西 神戸支店「琵琶湖グランドホテルペア宿泊券」は、神戸市産業振興財団の富山明男さん。神戸ポートピアホテルとホテルオークラ神戸、夢舞台からは「ペアご宿泊券」2本ずつ寄贈されました。神戸ポートピアホテルはミツ精機の三津千久磨さん、古野電気の高木淳さん。ホテルオークラ神戸は大和リースの小原孝清さん、カルモ鑄工の高橋勝彦さん、夢舞台はシマブンコーポレーションの正垣亮さん、日清テクノスの露口浩さんが当たりました。会員企業賞の最後は神戸製鋼所の「カタログギフト」4本です。フルヤ工業の降矢寿民さん、大和ハウス工業の前田幸一さん、新電機工業の年清謙二さん、神戸ポートピアホテルの中内仁さんが選ばれました。

福引きも後半になると、さらに豪華賞品が出てきます。ここから副会長賞5本の発表です。まずは「三田屋食事券」（神門副会長寄贈）1本はカコテクノスの加古泰三さんです。「おせち料理」（竹田副会長寄贈）2本は神戸歯車の岡本洲弘さんとトーホーの上村賢作さん。「古泉閣宿泊券」（金井副会長寄贈）1本はオーガニック認証センターの赤城節子さん、「ギフトセレクション」（村元副会長寄贈）1本はクリエイションの清水泰史さんがそれぞれ当たりました。いよいよ最後の会長賞は、豪華な「おせち料理券」です。最後に福をつかんだのは兵庫県立大学の太田勲さんでした。太田さんは2年前にも「豪華カタログギフト」が当たった福男です。皆様も運を分けてもらいましょう。「今年のまとめとして非常に良い年になりました。福を引いた宮協会長に感謝します」と照れくさそうに語りました。



きき酒



歓喜の中各賞に当選して商品を受け取る皆様



会長賞贈呈



会長賞まで福引きが終わりましたが、これで終わりではありません。来年のオリンピックイヤーに向けて盛り上げていただくために、会員で東京オリンピックのスポーツ用品部門唯一のゴールドパートナーであるアシックスから特別賞のサプライズの「オリンピックグッズ」のプレゼントです。宮協会長と全員でじゃんけん合戦の末、2回戦で勝ち残った6人が壇上に集まった3回戦は一発で勝負が決まり、最後までグーを出し続けた神戸風月堂の安村一夫さんが獲得しました。「10年前に一度会長賞が当たり、あんな幸運はもうないだろうと思っていたので驚きました」とコメントを頂きました。

中締めで番所利行会員交流委員会副委員長は「兵庫工業会の会員はすばらしい方々ばかりです。交流会で交流を深めていただければさらに良い会になります。次回は倍増の出席者を期待しています」と呼びかけ、お開きとなりました。初参加でしたが来年が待ち遠しい、盛大な忘年パーティーでした。来年も明るく楽しく開かれますよう祈念して、今回の報告を終わらせていただきます。



じゃんけん大会



中締めの挨拶

(日刊工業新聞社 神戸総局長 香西貴之)

# ベトナムミッション報告

兵庫工業会は、神戸市海外ビジネスセンターと共催し、2019年11月3日(日)から8日(金)にわたり、ベトナム社会主義共和国のハノイ市およびダナン市にビジネスミッションを送り出しました。視察テーマは、「ベトナムへの拠点進出、販路開拓と人材獲得の機会を探る」です。参加者は、団長の村元四郎氏（兵庫工業会副会長）、副団長の山本泰生氏（神戸市経済観光局長）、宮脇新也氏（兵庫工業会会長）ほか過去最高の40名です。日本より10度は高い気温でしたが、全行程が快晴となり、予定通りに行動することができました。以下、ミッションのトピックスを記述いたします。

## <結団式>

初日は、関西国際空港に朝8時に集合。現地（ハノイ）ノイバイ国際空港には13時半に到着いたしました（時差2時間）。ハノイ市内の商業施設（ヴィンコムセンター）視察後、ベトナム料理の夕食を取りながら、結団式を行いました。日本からの参加者に加え、現地で合流された方を加えた総勢40名が賑やかに顔合わせを行いました。

## <商談会>

二日目は、朝9時から商談会が開催されました。開催前の挨拶では、村元団長から参加者に激励の言葉があり、参加者一同、やや緊張の面持ちで神妙に聞かれていました。商談会終了後に感想を伺うと、“当初予定より多くの現地企業の人に会えた”、“明日、急遽、現地企業を訪問する”と言った前向きの話が多く、有意義な場であったと思われまます。

## <JETROハノイ・人材送り出し機関>

二日目、商談会と並行して、JETROハノイとベトナム人材送り出し機関であるCEOサービス開発を訪問しました。JETROハノイでは、中島所長や北沢氏から、日本を含めた外資系企業のベトナム進出が旺盛である一方で、ベトナムでの賃金は、現時点では安い、数年先には中国並みになってしまうのではないかなど、現地ならではの貴重な話を伺うことができました。続いて訪問したCEOサービス開発は、ホテルやリゾートのディベロッパーであり、かつ、ベトナム人材の日本への送り出し機関です。技能実習生の研修施設では、多くの若い生徒が元気一杯で学んでいる姿を見ることができました。

## <日系企業交流会>

二日目の夜には、ハノイ駐在員30名とミッション参加者40名の70名にて交流会を開催し、貴重な意見交換ができました。なお、交流会には、ベトナム外務省（経済局）よりトゥーイ室長にもご出席いただきました。



商談会



CEO サービス開発



日系企業交流会

## <ハナム省人民委員会>

三日目の午前、ハナム省人民委員会を表敬訪問いたしました。フィ副委員長ほかハナム省関係者15名、日本デスク2名およびミッション参加者25名が一堂に会し、ハナム省における企業誘致状況（日本企業に対する10のコミットメントほか）やドンバン工業団地（Ⅰ～Ⅳ）について紹介いただきました。加えて、ハナム省主催昼食会を開いていただき、熱烈歓迎していただきました。

### <ドンバン工業団地・日系企業>

三日目の午後には、ドンバンⅢ工業団地を訪問し、団地内にインランドポート（通関）を備えているなど、ドンバンⅢ特有の優遇策について紹介いただいた後、以下に示す現地日系企業4社を視察いたしました。

- ・藤電機工業：自動車ワイヤハーネスを生産。9月稼働開始の新工場。作業者は全員女性
- ・ティラド：二輪車ラジエータを生産。ベトナム国内ホンダ向け（120万台／年。ほぼ独占）
- ・タニグチプラスチックベトナム：発泡スチロールを生産。金型操作は男性。それ以外は女性
- ・日本人滞在者向けアパート：1LDK家賃約15万円／月。7割入居。更に1棟建築予定



ハナム省人民委員会



ドンバンⅢ工業団地事務所

### <ハノイ貿易大学>

四日目の午前、ミッション参加者30名にて、ハノイ貿易大学を訪問し、フォン副校長や日本語学部長ほかの教員や教室が一杯となるぐらい多く参加してくれた学生（大半が女性）との交流・意見交換を行いました。ハノイ貿易大学の学生は6割以上が女性で、卒業時の日本語会話レベルはN2以上とのことです。インターンシップによる日本訪問に関心が集まっていました。

### <人材送り出し機関>

久々に和食の昼食をとった後、ハノイ郊外にあるベトナム人材送り出し機関であるEK国際栄進アライアンスを訪問しました。溶接や旋盤ほかの実習設備があり、約300名の生徒が研修を受けていました。学生の日本での研修先は決まっており、6ヶ月の研修後、日本へ渡航予定とのことです。この後、ノイバイ国際空港からダナン国際空港に飛んで、夜遅くにダナン市内のホテルに到着いたしました。

### <ダナン投資委員会>

五日目の朝、ミッション参加者ほぼ全員にて、ダナン人民委員会の傘下にある投資委員会を訪問し、フォン副委員長ほかの方々より、ダナンの経済状況、企業誘致活動や工業団地につき紹介いただきました。フォン副委員長は神戸には行ったことがないので、いずれ訪問したいと希望を述べられていました。

### <ホアカイン工業団地・日系企業>

続いて、ダナン海浜部のリゾート地区からは少し内陸に位置するホアカイン工業団地にて十数年前からカバンを縫製する“由利”（本社は豊岡市）の工場見学をいたしました。作業者の大半が女性です。作業上、日本語は不要ですが、由利の現地スタッフとのやりとりや工場運営には日本語が必要なので、現場ラインの管理職は日本語が話せるベトナムの方が就いています。一方、ダナンではリゾートホテルの建設ラッシュにあり、特に、賃金の良い日系ホテルへの転職者が増えているのが悩みの種であり、将来的にはより賃金の安い国（例えば、ミャンマー）への移転も考えなければならないとのことでした。

### <ダナン大学>

一瞬の観光気分を味わうべく、ダナンのリゾート地区にあるレストランで海を見ながらの昼食後、ダナン大学日本語学部を訪問しました。ソン副学長、日本語学部長や日本人教員に加え、多数の学生に出席いただきました。学部紹介によると日本語学部の学生はN 2以上で卒業し、多数が日本での仕事や留学を希望しているとのこと。日本側（山本副団長）からは神戸の魅力を紹介いたしました。交流会の最後では、日本語学部長より、日本ルーム（住商提供）への展示物寄付要請がありました。これについては、帰国後、関係者と相談し、対応する予定です。



現地日系企業（由利）



ダナン大学

### <解団式>

明日早朝の日本への帰国を控え、ダナンで有名なシーフードレストラン 4U（フォーユー）にて解団式を行いました（外は真っ暗）。村元団長から、ベトナムミッションの内容が、年々、充実していると高く評価いただくと共に、参加された方々からは、有益な機会となった、また参加したいとのご意見が多く出されました。

### <所感>

今回の視察では、「ベトナムへの拠点進出、販路開拓と人材獲得の機会を探る」をテーマとして、関連する企業や行政機関を訪問させていただきました。その結果、参加された方々が、何かビジネスの手掛かりを得られたのではないかと推察いたします。

本ミッションでは集団から離れ、自己責任において現地ビジネス（商談や企業訪問）ができます。このため一部ではありますが毎日のようにミッション参加者の顔ぶれが変わりました。このようにミッションをベースにしてダイナミックな現地ビジネスができることは、参加された中小企業の経営者にとり海外ビジネスに取り組む際に役に立つ手法ではないかと思われまます。

ところで、ベトナムは若く・低賃金・教育熱心・親日の国です。日本にとり良質な海外パートナーとして、その実状を定点観測と言った形で調べ続けることは有益であると思えます。一方で、数年先には賃金面での優位性が疑問視されており、ポストベトナム対象国にも目を向ける時期が来ているようにも思いました。

最後に、初めてのベトナム訪問でしたが、気候も良く、参加された方や訪問先の方と楽しく、かつ、リアルな話ができただことは、大変、有益でした。本ミッションでお会いした方々や関係された方々に感謝申し上げます、報告とさせていただきます。

# 第16回ものづくり技術懇話会・交流会のご報告

11月22日(金)播磨町、明石市において「第16回ものづくり技術懇話会」を開催いたしました。

懇話会には兵庫県産業労働部、兵庫県立ものづくり大学校、兵庫県立工業技術センターの皆様および兵庫県内の関係機関や学術関係者、兵庫工業会役員・会員企業の経営者や研究・技術者など、合わせて63名が参加されました。

今回は「IoTへの取組み」「外国人採用」「ものづくり女性活躍」をテーマとして、播磨町にある兵神機械工業(株)、(株)神戸工業試験場を訪問いたしました。2社を見学するという事で、Aグループ、Bグループに班分けをしてスタートしました。それぞれ兵神機械工業(株) 友藤社長、(株)神戸工業試験場 鶴井社長からの挨拶と会社概要説明を聞いたあと工場見学を行いました。見学時間が短いこともありましたが、ポイントはしっかりと押さえていただき、見学する事が出来ました。



兵神機械工業(株)にて (A グループ)



(株)神戸工業試験場にて (B グループ)

約1時間の見学を終えた後、ホテルキャスルプラザ(明石市)に移動して、意見交換会を行いました。

意見交換会では宮脇会長から「ものづくり技術懇話会へのご参加、ありがとうございます。今回は兵神機械工業(株)と(株)神戸工業試験場の2社を見学させていただきました。この技術懇話会は産官学が連携して、兵庫県下の企業を見学し、ものづくり技術の向上等を図るため開催しています。

意見交換し、より高め合い、ますます盛り上がって行くようにするのが我々の目標でありますので、この会が、有意義なひとときになりますよう、お願いいたします。」との挨拶でスタートしました。

交流会では、金澤副知事から「この素晴らしい事業は、平成14年から数えて、今年で16回となりますが、ずっと続けていただいている兵庫工業会の皆さんに、あらためて心からお礼申し上げます。

中小企業が生き残り成長して行くにはどのようにしたら良いか、日々考えられていることと思います。そんな中で特にお願しているのが女性の活躍です。ものづくりの業

界では男女比7:3くらいと言われています。また、兵庫県が抱えている大きな課題として、若い人たちが首都圏に流出してしまっていることがあります。

この若い人たちの中には女性も4割くらいいます。女性が兵庫の中に定着しづらい事があるのであれば、女性に好まれそうな仕事を考えなければいけませんし、兵庫はものづくり県ですから、ものづくりの産業界で女性が働きやすい、女性にとっても魅力を感じられるような状況を作り出していかなければなりません。

そういうことへの議論を含めて、実りあるものづくり技術懇話会になるよう期待しています。」と挨拶がありました。

続いて兵庫県立大学太田学長の乾杯のあと、参加者の皆さんでお互いに情報交換がされ、有意義な「第16回ものづくり技術懇話会」となりました。ご対応頂きました兵神機械工業(株)、(株)神戸工業試験場の関係者の皆様には、紙面をお借りしまして、お礼申し上げます。



金澤副知事挨拶



宮脇会長挨拶



意見交換会の様子

# 大学職業指導研究会 第四分科会との情報交換会 ご報告

11月28日(木) 神戸ポートピアホテルにおきまして、首都圏の大学において理系学生の就職指導を担当されているキャリアセンター職員の方々と会員企業との情報交換会を実施いたしました。

大学職業指導研究会は、首都圏を中心とする私立大学の就職支援業務に携わる担当者(キャリアセンター職員)が業務に関わる課題について協議、研究、情報交換することを目的に、1969年(昭和44年)に設立された会で、2019年度の会員校は117大学となります。

中でも第四分科会は、理工系学生を支援する立場から、理工系学生特有の諸事項を専門的に研究し、「理工系学生とモノ・コトづくりの企業とをつなぐ支援を探る」を掲げています。主な活動は工場見学で、ものづくりの現場に実際に足を運び、就職指導の研究を重ねられています。

この度11月28日(木)・29日(金)の2日間、神戸市内の企業を見学され、兵庫工業会会員企業との意見交換をしていただきました。



ご挨拶 (染谷運営委員長)



意見交換

その場において、大学側から首都圏の学生出身地の大多数が関東圏に集中する「首都圏大学の関東ローカル化」などの実態を伺えたほか、大学から企業に対し学生の採用におけるポイントなどの質問がありました。

企業側からも理系大学生への教育内容についての希望事項や、現在の理工系学生の就職志向に関する活発な質疑応答がなされ、引き続いての懇親会でも本音の情報交換が行われた次第です。

今後、本活動により得たネットワークを活用し、会員企業の人材獲得に寄与できる企画を事務局で検討していく所存です。

最後に、今回、参画いただいた大学職業指導研究会第四分科会の皆様および見学の受入れ、情報交換会にご参加いただきました兵庫工業会の会員企業の皆様に御礼申し上げ、ご報告とさせていただきます。



意見交換会の総括 (宮脇会長)

# 兵庫工業会女性会 (win-win) 見学会ご報告

兵庫工業会女性会は、11月13日(水)に参加者11名にて、丹波篠山市に所在するフルヤ工業(株)と、ぬくもりの丹波木綿創作館の見学をさせていただきました。フルヤ工業(株)では、工場と福利厚生施設として設置された事業所内保育施設を見学し、「働き方改革」についてお話をいただきました。ぬくもりの丹波木綿創作館では、伝統工芸品である木綿織りの工程を見学し、丹波篠山地域の伝統を守られてることを学ぶ見学会となりました。



集合写真

フルヤ工業(株)およびぬくもりの丹波木綿創作館の見学にて関係いただいた皆様には、大変お世話になりました。

本紙面をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

以下に、見学会にご参加いただきました、中川裕子様、宮家史子様からの感想を掲載いたします。

## <中川裕子様の感想>

兵庫工業会女性会では11月13日(水)にフルヤ工業(株)、ぬくもりの丹波木綿創作館、夢の里やながわ、丹波おばあちゃんの里等の見学会として、紅葉美しい丹波篠山へバスで向かいました。

特に心に残りましたのはプラスチック製品の開発製造をされているフルヤ工業(株)降矢社長様のお話でした。紆余曲折を経験されながらも勇敢に柔軟に難題に立ち向かわれ、常にチャレンジされるその精神は工場の随所に表現されており、大変心動かされました。美しい社員食堂、事業所内保育施設サポテンハウス、また、井谷上席取締役様からはベトナム、タイ、ミャンマーの実習生、技術者の受け入れ成功事例を聞かせて頂き、人を大切にされながらの従業員教育に感銘を受けました。

中小企業の枠を超え世界に羽ばたく企業として最先端を走られているフルヤ工業(株)を通じ令和時代の中小企業のあり方を考えさせられた大変有意義な一日となりましたこと、深く感謝申し上げます。

## <宮家史子様の感想>

11月13日(水)、爽やかな秋晴れの中、丹波篠山市のフルヤ工業(株)を見学させていただきました。

フルヤ工業(株)には、事業所内に保育施設があり、女性従業員の仕事と育児の両立を積極的に支援されておられます。就労意欲があるにも関わらず、育児のために社会進出をためらう女性にとって、事業所内保育施設の存在はとて安心で、心強いつ感じました。保育施設は、大きな窓ガラスから降り注ぐ太陽の光と、爽やかな木の香に包まれ、開放的な過ごしやすい施設となっております。その一方で、外国人実習生の受け入れにも力を入れておられ、工場内ではベトナムやミャンマーからの実習生が多数働いていらっしゃいました。見学の際に、お声掛けをさせていただきましたが、イキイキとされおり、働きやすい職場であることが感じ取れました。

その後、丹波木綿創作館にて、伝統工芸品である丹波木綿の糸つむぎやはた織りなどの工程を見学させていただきました。丹波木綿の作業工程はとて細かく、創作館の皆さまは、大変なご苦労をなさって、この素晴らしい伝統工芸品を守っていらっしゃることを痛感いたしました。

古いしきたりにとらわれず、新しいことを積極的に取り入れること、その一方で古き良きものを大切に守る続けること、この両面の重要性を実感した見学会となりました。素晴らしい経験をさせていただきましたことに心より感謝申し上げます。





## 播州調味料株式会社

所在地：〒670-0811 兵庫県姫路市野里948  
TEL：079-224-1761 FAX：079-282-5491  
URL：http://www.bansyu-chomiryo.co.jp  
代表者：代表取締役社長 中川 善弘

本年度、兵庫工業会に入会させて頂きました姫路市の播州調味料株式会社と申します。  
どうぞ宜しくお願い致します。

### 食の「旨味」を追求

弊社は昭和41年3月創業、豊田通商（当時の東洋綿花／トーメン）と三和澱粉工業グループを株主とする総合アミノ酸メーカーです。とうもろこしや大豆等、植物たん白を原料とする天然食品「アミノ酸液」を生産。醤油やラーメンスープ等に調味料原料として使用され、業界2位、国内20%強のシェアを堅持しています。当社特有の脱色技術を駆使し、他社にない淡色化を実現、各製造工程の高い技術力と徹底した衛生・品質管理は、アミノ酸液をベース原料として、脱塩、濃縮、精製、粉末化まで行い、加工食品メーカーにお届けします。高さ25mの大型スプレードライヤーは、アミノ酸液を霧状にし、熱風で粉末化します。

またアミノ酸製造事業の他に小袋スープ製造部門を有し、液体・粉体、及び包装が難しい微粉体まで幅広い形態の製品充填が可能です。播州エリアを中心に業務用「ダイヤうどんスープ」は幅広く親しまれてきました。

2012年に食品安全の国際規格ISO22000認証を取得、16年に食品衛生優秀施設として姫路市長表彰を受賞、19年12月にはレベルアップした食品安全規格であるFSSC22000を認証取得しました。

### 飽くなき挑戦

近年力を入れているのは、「バイオ・酵素分解事業」です。微生物や酵素を使い、植物動物由来のタンパク質を分解、付加価値の高いアミノ酸を抽出し、健康食品や化粧品素材の開発、製造に取り組んでいます。機能性表示食品分野の成長が著しい中、「γ-アミノ酪酸」等の注目素材を大手メーカーと共同開発しています。

### 今後の展望

より良い職場づくりを目指し、5S活動、作業安全に注力しており、2016年「ひょうご仕事と生活の調和推進企業」の認定、無事故記録は1200日を超えました。トヨタ生産方式（TPS）をベースに業務を見直し、作業要領書に基づく安全作業、食品衛生に対する意識啓発、営業・生産計画の精度向上、フレックスタイム制度も導入しました。ムリ・ムダ・ムラをなくすことで、働きやすい会社作りを目指しています。

現在アミノ酸液新工場建設に着手し、最新鋭ろ過設備導入を予定。またバイオ・酵素分解物増産に向け、新プロジェクトを検討中。成長が期待される機能食品素材、化粧品原料を幅広く増産対応し、高品質・高効率のもと、市場シェア向上を目指します。会員企業皆様方のご指導、どうぞ宜しくお願い致します。

（なお本稿は姫路商工会議所誌の昨年度取材記事を参照一部引用させて頂いております。）



和風だしスープとして永年好評  
ダイヤうどんスープ



ダイヤアミノ酸液製品群



バイオ・酵素分解工場



スプレードライヤー

## 令和元年度職域における創意工夫者表彰 表彰式

現場の改善活動などに貢献された方々を顕彰する「職域における創意工夫者表彰式」を12月23日（月）、兵庫県公館にて開催し、兵庫県知事賞80名、兵庫工業会会長賞98名の方々が受賞されました。

厳かな雰囲気の中、それぞれ代表の方に金澤副知事、宮協会長より賞状と記念品が手渡され、式後は各所で記念撮影される受賞者が見られました。受賞者の皆様、おめでとうございます。



代表受賞者への兵庫県知事賞授与



宮協会長挨拶

## イベント情報

月 日	事業名・内容	場 所
1月31日(金)	西播磨地域交流会	赤穂ハイツ
2月19日(水)	合同委員会	有馬 古泉閣
3月17日(火)	2019年度第3回理事会	ホテル北野プラザ六甲荘
5月16日(土)	ゴルフ大会	美奈木ゴルフ倶楽部
5月28日(木)	第61回通常総会	神戸ポートピアホテル

## 会員動向

### 代表登録者変更

企 業 名	新 登 録 者	旧 登 録 者	変 更 月
日刊工業新聞	神戸総局長兼 姫路支局長 香西 貴之	花岡 敬二	2019年11月

### 個人会員変更

新 登 録	旧 登 録	変 更 月
竹村 正樹 元町山手法律事務所 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通り5-1-21	竹村 正樹 藤木新生法律事務所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-7-7 ワキタ堺筋本町ビル2階	2019年11月

ご入会・セミナー・講演会・研修などのお問合せ・お申込みは…



## 公益社団法人 兵庫工業会

本 部 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通6丁目3番28号 兵庫県中央労働センター3階  
神戸事務所 TEL 078(361)5667 / FAX 078(371)4336  
Eメールアドレス mail@hyogo-ia.or.jp  
URL http://www.hyogo-ia.or.jp

姫路事務所 〒670-0962 姫路市南駅前町123 じばさんびる3階  
TEL 079(223)8230 / FAX 079(223)8231